



まちの話題



家族や近所の方に囲まれ笑顔を見せる俊子さん（前列中央）

蘇民袋を奪い合う下帯姿の男衆

元 家族との会話でいつも笑顔 気に100歳の誕生日

千田俊子さん＝六原蟹子沢＝は1月18日、満100歳の誕生日を迎えました。同日、高橋由一町長らが自宅を訪れ、記念品などを贈り、長寿を祝いました。

俊さんは故・貞さんと結婚。農業をしながら子ども4人を育て、孫5人、ひ孫12人に恵まれました。現在は長男の八彦さん、長女の西窪節子さん夫婦と4人暮らし。家族との会話でいつも笑顔で過ごしています。節子さんは「いつまでも長生きできるように、母を見守っていきたい」と話していました。



熱 蘇民袋目指して一直線 気あふれる争奪戦

第29回おらが村の永岡蘇民祭は1月29日、永沢土地改良区駐車場で開催され、60人を超える下帯姿の男衆が無病息災や五穀豊穡を祈りました。

同祭は昭和63年に発生した豪雨災害をきっかけに開催。今年は、北は北海道、南は岡山県から参加者が集まり、蘇民袋の争奪戦を行いました。

争奪戦の結果、取り主には阿部光平さん(27)＝永沢竹原＝が輝き、「準取り主に2回なったが、取り主は初めて。最高です」と喜びをかみしめていました。

青 6シーズン目の合宿 山学院大学アイススケート部

青山学院大学のアイススケート部は2月6日から9日まで、みどりの郷アイスアリーナで合宿を行いました。町内在住の同校OGの働き掛けで実現し、今年で6回目になります。井上華凜主将(20)は「東京ではリンクの使用に制限があるが、ここではメニューがこなせてありがたい」と話していました。



例年小学生などとの交流も。今年は水沢第一高校の生徒と交流

手作りEMせっけんを手渡す新田会長（中央）



町 給食センターの廃油を使ったせっけん 内施設に300個寄贈

町生ごみ堆肥化研究会(新田紀子会長・会員90人)は、2月2日、千葉祐悦教育長を訪れ、廃油を活用したEMせっけん300個を金ケ崎中学校などへ寄贈しました。新田会長は「本来捨てる油を使い、環境にも優しいせっけん。広く使ってもらいたい」と期待を込めていました。

未 段ボールを使って想像をかたちに 未来の金ケ崎の町を作ろう

たくましいかねがさきっ子育て推進大会と同時開催された制作活動「未来の金ケ崎の町を作ろう!」には小学生56人が参加。

子どもたちは「未来の金ケ崎」に思いを馳せながら、段ボールなどで高層マンションや工場などを思い思いに作っていました。



高層マンションや工場、遊園地などを真剣な表情で作る小学生

子育てと情報メディアについて講演する塚野弘明岩手大教授



た 事例発表や基調講演を実施 たくましいかねがさきっ子を考える

たくましいかねがさきっ子育て推進大会は1月21日、中央生涯教育センターで開催されました。

小中学生によるエミリー・ディキンソン詩の朗読で幕開け。家庭と学校の連携や地域での取り組み事例、情報メディアに関する基調講演を通して、子育てについて考えました。